



2018 **7/26**
19:00~21:00

場所 スマートニュース株式会社
東京都渋谷区神宮前6-25-16 いちご神宮前ビル 2F

【最寄り駅】

- ◆ 渋谷駅 徒歩12分
- ◆ 大原宿駅 徒歩9分
- ◆ 明治神宮前駅 徒歩7分

参加申込

下記URLよりお申し込みください。
<https://goo.gl/Yu1Fjx>



大堀相馬焼と玉虫塗の 未来を考えるアイデアソン

東北の工芸品の担い手育成の課題とは

関連地域

福島県浪江町
宮城県仙台市

◆ 参加費 無料

◆ 定員 30名

◆ 主催 復興庁

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

「Fw:東北Weekly」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組み、プロジェクトをご紹介します。東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間30本程度を予定)します。

大堀相馬焼と玉虫塗の未来を考えるアイデアソン

東北の工芸品の担い手育成の課題とは

関連地域

- ・福島県浪江町
- ・宮城県仙台市

日時 2018.7.26(木) 19:00～21:00 (開場 18:30) 場所 スマートニュース株式会社

地域課題

東北には各地に特徴のある工芸品が多数存在します。時をまたぎ、人々の暮らしの中で長らく親しまれてきた工芸品も、発災以降の市場や環境の変化により、担い手育成への新たなアプローチが求められています。

企画趣旨

個性豊かな地域の工芸品を守り、育てていく担い手は、そのように生まれ、増やしていくことができるのか。今回のFw:東北Weeklyでは、異業種からの転身によって工芸品の世界へ身を投じ、新たな価値づくりを仕掛ける大堀相馬焼松永窯の四代目を継ぐ松永さんと、仙台で近代に生まれた伝統的工芸品、玉虫塗を担う東北工芸製作所の佐浦さんゲストに迎え、地域の工芸品の担い手を増やすためのアイデアをみなさんと一緒に考えていきます。

登壇者

※順不同／敬称略

◆ 松永 武士 (大堀相馬焼窯元「松永窯」4代目／株式会社ガッチ 代表取締役)

1988年生まれ。福島県浪江町出身。明治43年創業の大堀相馬焼の窯元「松永窯」4代目。慶應義塾大学在学中に起業し、中国、香港、カンボジア等、海外を舞台にヘルスケア関連事業を展開。震災で打撃を受けた大堀相馬焼の再生を手掛けるべく、海外事業を譲渡し帰国。ビジネスのフィールドを大堀相馬焼の復活に賭け、大堀相馬焼の企画販売から技術の伝承まで、活動の幅を広げている。復興庁平成28年度「新しい東北」復興功績顕彰「企業による復興事業事例」に選定された。

◆ 佐浦 みどり (有限会社東北工芸製作所 常務取締役・店長)

岩手県盛岡市生まれ。東北学院大学法学部を卒業。東北工芸製作所へ入社の際、2005年より店長、2013年より常務取締役兼店長に就任。昭和の戦前期に商工省工芸指導所と東北帝国大学金属材料研究所の協力によって生まれ、仙台を代表する工芸品として玉虫塗の生産を行う東北工芸製作所で、佐浦家の家業を継承する社長を支えながら、店舗の運営と販売に関する責任者として重責を担う。

プログラム (予定)

19:00	開会メッセージ
19:05	キーノート 「大堀相馬焼の存続を目指して」(仮) スピーカー: 松永 武士氏
	キーノート 「東北工芸製作所、玉虫塗の挑戦」(仮) スピーカー: 佐浦 みどり氏
19:45	ミニアイデアソン 「若者が工芸品の担い手に挑戦する仕組みを考える」
20:40	LIKEorJOIN / コミットメントカード記入
20:50	Fw:東北活動紹介 / 閉会メッセージ



平成29年度
Fw東北・共創イベントの様子

参加対象者

- ・震災をきっかけにしたつながりから新しいビジネス創出に関心がある方等
- ・工芸品の新しい展開に興味のある方等
- ・地域産業の担い手づくりに関心のある方等
- ・その他、本イベントに関心のある方等

主催：復興庁／企画運営：NECソリューションイノベータ株式会社 (受託事業者)



「Fw:東北 フォワード東北」フェイスブックページ <https://www.facebook.com/fwtohoku/>

【注意事項】 ※会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい。